昭和25年5月6日第三種郵便物認可
©鉄鋼新聞社 2019

NIRECO
技術と信頼
株式会社ニレコ

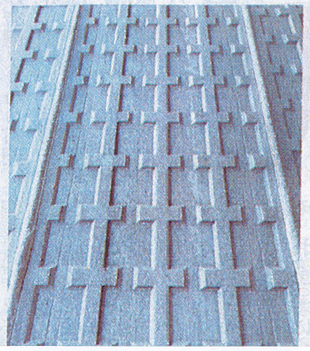
7月12日
2019年
（令和元年）
金曜日
第19362号（日刊）
土、日曜・祝日は休刊

鉄鋼新聞
Japan Metal Daily

発行所 株式会社 鉄鋼新聞社
本社 東京都千代田区神田神保町1－101 神保町101ビル
編集局 ☎03(5259)5203 FAX03(5259)5209
業務部 ☎03(5259)5202 FAX03(5259)5208
大阪支社 ☎06(6445)6935 FAX06(6445)6938
名古屋支社 ☎052(735)6556 FAX052(736)6557
http://www.japanmetaldaily.com
Eメール:info@japanmetaldaily.com

金属加工機械の総合メーカー
AMADA
www.amada.com アマダグループ

覆工板「メ
日本製鉄
排水性



日本製鉄は11日、覆工板「メトロ
水溝を設けることで路面乾燥時間を
回復を実現。乾燥時の滑り抵抗値も
ーザーのニーズに応えて車両・建設

神戸製鋼 欧州地域の統
独ミュンヘ

神戸製鋼所は11日、
ドイツのミュンヘンに
欧州地域の統括会社、
コベルコ・ヨーロッパ
（KEU、社長・
志氏）を設立した。これに
表した。
国、中国、東南アジ

工場ルポ 韓ステンレス鋼線大手「DSR」
高品質と価

韓国DSR（本
ンレス鋼線、ス
造する大手メー
テンレス第1工場
JIS認証などを
め、2017年に
工。ベトナムと中
の販売拠点があ
コスト競争力が特

主力工場はステン
工場と第2工場。敷
万5千平方㍍のステ
1工場では、ばね用
ス鋼線、一般用ステ
線、冷間圧造用ステ
線などを製造してい
機械、自動車など向
品質・価格・納期
第1工場では年々、
けなどばね用ステン
の需要が増えている
め、ばね用ステンレ

日本列島情報ネット
西日本版

広島支局 〒730-0051 広島市中区大手町5丁目1-1 大手町ファーストビル5F 電話・082(241)3592 FAX・082(241)3597
福岡支局 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3－28－12 電話・092(451)3321 FAX・092(451)3387

挑戦の触媒果たす

ほじめ、もに「先輩方が作り上げた
込んで北商圏をしっかり受け継ぎな
しく商売ながら、自動車需要を面とし
のイメーてとらえてグループに貢献
に赴任しできるよう協業していきた
型の顧客い」。
心掛ける。「ここ数年来、メーカー
本管掌する側がタイトで玉が出てこな
の陣容。売かったが、景気の潮目が変
ツダをはわってきている中で、非自
関連の鋼動車の分野の販売も増やし
たい」と意気込む。支社メ
ンバー・グループと互いに
腹を割って話し合うことで
グループ間の情報共有や、
交流を深化させるための触
媒としての役割も果たした
いという。

千葉に妻子を残し、久方
ぶりの単身生活。広島を拠
点に各地を巡りたいとし
「料理にも挑戦したい」。
（小田 琢哉）

略歴
小柳 淳志氏（こやなぎ・きよし）1989年北大大学院金属工学部卒、同年丸紅入社。鉄鋼貿易を振り出しに東京、名古屋、北海道、神奈川、群馬で勤務経験がある。自動車鋼材販社の紅忠オートスチール（現紅忠スチール）では設立から深く関わった。直近は自動車鋼材本部総括室長。北大でスキーに出会ったが最近はご無沙汰。ウオーキング継続で健康維持に努め、ゴルフは100切りが目標。三重県出身。1964年1月12日生まれ。

柔軟な発想でいろんな
ことにチャレンジして
ほしい」

を開催
ンの関係に

贈呈式」を実施。商品
知識を深めると共に親
睦を深めた。

冒頭、大森会長は
「皆様と一緒に、JF
E建材ブランドの拡販
に努めたい。製販が一
体となり、共にウィン
ウィンの関係になって
いければ幸い」と挨拶。
九州地区を担当している岡本恒夫JFE建材取締役は、JFE建材フェンスの営業・商品技術部門との移管・統合について「今回の統合はシナジー効果が見込めます。ガードレールからフェンスまで、柵のことならJFEということで、皆様から頼りにされるメーカーを目指します」と語った。

感謝状贈呈式で挨拶した久保亮二JFE建材社長は「成熟したマーケットと言われていますが、汗をかき知恵を出して、新しい商品を出していけば必ず売上げは上がると確信している。『JFE建材と一緒にやっていて良かった』と、必ずや言って頂きます」と強調。

懇親会で、乾杯の音頭をとった池田英樹JFE九州支社長は「昨年度は、数々のトラブルでご心配やご迷惑をおかけしました。今年はしっかり造って安定生産・安定供給に努めます。最近は変化の激しい時代なので、コミュニケーションを密にしたい」と述べた。

清松総合鉄工
大分県の「活力朝礼発表会」に出場
「元気一杯、笑顔満面」の朝礼披露

▽…大分県のHグレードファブ、清松総合鉄工（本社・大分県宇佐市、社長・清松芳夫氏）は6日、大分県別府市の別府ビーコンプラザで開かれた「活力朝礼発表会&青年弁論大会」（主催・大分県倫理法人会）の活力朝礼発表会の部に参加。「元気一杯、笑顔満面」の朝礼＝写真＝は好評だった。会場からは「勉強になった、感動しました」との声が寄せられた。

▽…活力朝礼発表会には、企業向けセミナーなどを行っている大分県倫理法人会（会員・約1100社）に加盟する企業の中から、各支部が推薦する4社が参加。それぞれが普段から行っている朝礼を披露した。清松総合鉄工からは清松社長をはじめ、小野勝喜常務執行役員工務部長、フィリピン人技能実習生を含む8人で参加。同社独自の〝元気になる朝礼〟をアピールした。

▽…同社の朝礼は、朝礼会場の入口に立つ、清松社長の威勢のいい「ハイ、おはよう」でスタート。負けないような大声で「おはようございます」と返事する社員とのハイタッチ運動で始まる。ハイタッチを行うことで、気持ちを高めて朝礼に入ることができる。

▽…社員のモチベーションを引き上げるために考案したのが、朝礼で失敗を発表したら、全ておとがめなしとなる「ええじゃないか運動」。失敗を恐れずに、何事にも挑戦してほしいとの思いからだ。仲間の良いところを見つけ出して褒める「イイネ運動」もユニーク。相手のいいところを探す癖がつき、結果的に社内に和が生まれる。

▽…最後に、清松社長は「3年前に朝礼を始めた時は何もできませんでした。でも試行錯誤の結果、今の朝礼の形になってきました。朝礼のお陰で、我社の売上高は180%アップです。朝礼で会社は確実に変わります」と語った。同社は毎月、月初の朝礼を一般公開している。予約すれば誰でも見学可能。希望者は同社（0978－32－2176）まで。

三晃金属工業、中国三友会・安全大会に60人
山手会長「無災害認識を強めよう」

三晃金属工業中国支店（支店長・高橋淳氏）と同社の施工特約店で組織する中国三友会（会長・山手紀隆細川工業社長）は3日、アークホテル広島で2019年度安全大会を開催。協力会員ら約60人が参加した。

冒頭に高橋支店長は「工事に携わるものとして、強い勇気で安全第一主義を徹底しよう」と述べた。続いて

安全意識を高めた